

# 碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
 神奈川 碩心 会 発行

11年12月現在 豆葉大 (合)	12月現在 地区区 地区区 地区区 計	会員数 131名 183名 31名 345名	11年12月 (329号)	発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
------------------------	---------------------------------	------------------------------------	---------------	----------------------------

## 行事予定

○県高段者審査会について

11月の会報でお知らせしました審査会の日程が変更になりました。会場と併せて左記の通り決定いたしました。

県高段者審査会

日 時・2月12日(日) 午前9時

場 所・平塚農業会館

県高段者審査会

日 時・2月19日(土) 午前9時

場 所・平塚農業会館

○第五回神奈川県本部年齢別吟詠大会

実施要領

日 時・平成12年5月21日(日)9時～17時  
 会 場・地球市民かながわプラザ

JR根岸線・本郷台駅下車徒歩3分

出場資格・

神奈川県本部登録会員で65才以上の方

但し総伝者は除きます。

今までの入賞者も参加できます。

会 費・一五〇〇円(昼食代共)

申込先・松井正岳総務部長迄

☎〇四六八―五六―九三三二

申込又切・平成12年2月15日

和歌の部

1 子等を思う歌の反歌

山上憶良 P―16

2 桜の花の散るをよめる

紀 友則 P―28

3 百首哥たてまつりし時

藤原定家 P―48

4 富 士

山岡鉄舟 P―64

5 こだま

石川啄木 P―76

漢詩の部

1 桂林荘雜詠諸生に示す

広瀬淡窓 1―31

2 夏の夜

江馬細香 2―17

3 春日山懐古

大槻磐溪 3―19

4 京師にて家書を得たり

袁 凱 4―73

5 折 楊 柳

楊 巨源 5―80

和歌の部、漢詩の部共年代別に表彰

○碩心会春季審査会

日 程・平成12年3月20日(日)

場 所・逗子市図書館三階

①ホール

②講座室

神奈川県本部

## 創立四十五周年記念吟道大会

佐久間 岳 爽

快晴の11月21日(日)、県本部の45周年吟道大会がよこすか芸術劇場に於て開催された。

式典で長谷川岳聖理事長は「岳風会の中で神奈川県の会員は一番多く、七千名で新しい世紀に向つて期待されている」と挨拶された。続いて表彰並びに許証授与が行なわれ、千葉岳閣会長と加藤岳洵副会長が上席師範の許証を受けられる。(11年7月1日付)

傾心会関係の総伝は次の5名が許証を頂く。

渡辺岳心、舟渡岳船、佐久間岳爽

内山岳青、磯村岳朋(11年11月1日付)

大会のプログラムは一大合吟から始まり青年の部「九月十日」には幼ない人も合吟し会場の雰囲気明るくする。

「構成吟・神奈川旅情」は県下の史実にもとづいて文人の詠われた俳句、短歌、詩によって各地の特色を詩情豊かに構成され、傾心会から吟詠に、詩舞に多数の方が参加された。

コンクールは優秀チーム12組が出場し、熱吟に続く熱吟ばかりで大会を盛り上げた。

招待吟詠の範吟に至福の時を感じ、アトラ

クシヨンでは珍しい龍の舞を見る。横浜中華学院高等部の方達による出演で、宝珠の玉を追う龍が舞台狭しと踊り、それを鉦と太鼓が囃す見応えのあるものであった。

閉会の辞は「今日の大会を目指し、その成果をこの大きな殿堂に響かせていただき御礼を申し上げる。次なる50周年を目指し、邁進を誓い合いたい」と渡辺岳九副部長の力強いご挨拶であった。万歳を三唱し一九九九年代の最後を飾る県大会としての幕を閉じた。

## 大船地区吟道温習会

松和 宇都宮 徳 岳

平成11年12月4日(土)9時30分から大船地区吟道温習会が逗子市立図書館ホール3階に於いて開催された。当日は晴天に恵まれた上、馴染深い会場であったので、会員が早くから参集し、プロに従つて自らの吟に全力を尽くしそして番毎に最後まで暖かい拍手を送つて、会を盛り上げて下さり立派な温習会となりました。即ち定刻に修礼を行い、岡本大船地区副地区長の開会のことば、宇都宮常任理事の先導による傾心会の詩の大合吟があつて、会員吟詠に入る予定の処、所用の為早期退席せ

ねばならない千葉会長から「総本部が推進する青少年会員の育成、特に幼年者へのアプローチの方針に当会も全員で協力して欲しい」との要請など、挨拶と絶句一首の範吟があつた。その後はプロに従つて第一部大船地区会員吟詠13番、第二部協賛吟詠35番がなされ、第三部許証授与に入り、加藤副会長から各昇段昇伝、総伝、上席師範への許証が授与され又高齢者への表彰状が贈呈された。終りに山口大船地区長から「当地区は会員が少数の為会の準備運営を心配したが、会長副会長を初め各役員の御指導と指導者各位と各地区会員の御協力により、このように立派な会となつたことに厚く御礼申し上げます」との挨拶があつた。

此処で昼食休憩に40分を取り、午後は第四部立体吟詠9番1吟が華やかに演ぜられ、一際高い拍手が送られた。続いて第五部協賛吟詠39番、第六部大船地区指導者吟詠4番、第七部役員吟詠14番が次々に順調に進められ、その都度多数の拍手が起つた。

最後に木村参事の閉会のことば、鈴木参事の万歳三唱を以て幕を閉じた。時に15時40分であつた。

## それぞれの教場風景

A 教場 真澄支部 嶋 津 幸 岳

昨年真澄支部は二十周年を迎えましたが、その基となる教場です。木曜日午前中開かれっております。お稽古は先ず、発声練習から入り、独吟、合吟、アクセント等のご指導があります。現在先生が特に力を入れて下さっているのは、腹式呼吸による発声です。一人一人の吟を熱心に観察されて、先生の目と耳はごまかしがききません。私も先生から「肩が入ってお腹から声が出ていない」と指摘されています。日頃から腹式呼吸による発声の必要性を痛感していますが、身につかず注意を受けるたびに反省しています。私達の上達を心から願って下さる先生の厳しさの中にも心温まるご指導に感謝しております。

B 教場 町 田 紀 風

平成2年9月に初心者数人でスタートし、金曜日の午後の一時を、学びの場としています。その後人生も吟の世界でも大ベテランの先生級の方達と幅広い集まりになりました。お茶の時間には、人気者の賑やかさんがいて話題豊富で盛り上がりたり、なごやかに継続

している明るい教室です。学びの中にも、ちよつとした楽しみも大切です。各人の生まれ月にはお花をいただいて季節ごとの花に心なごみます。今日迄元気に過ごしたごほうびとして皆で喜び合います。ご熱心な先生のご指導で楽しい思い出を作りながら上達をめざしております。

C 教場 菊 地 祐 岳

私達の教場は仕事の都合で日中出られない人達の為に、金曜日の夜間に設けられました。時々木、金の日中にお休みした方等がいらっしゃいます。夜間なので周りの騒々しさもなく静かな所で大きな声が出せる場として魅力的です。腹式呼吸による発声とか、個人的に苦手な部分を、先生はこちらが根負けする程、繰返しご指導下さっています。体育館の二階ですから、詩吟好きな管理人さんも耳を澄ませているのか時々帰り掛けに「今日は皆いい声出ていたね」等と声を掛けて下さることもあります。

D 教場 八 神 嘉 風

水上教場は男性一人、女性三人の家族的暖かい雰囲気の良い教室です。月日の経つのは早いもので詩吟を始めて早8年になります。

詩吟とはどんなものかも分らなかった私達に先生は、息の吸い方、言葉の詰、余韻、間のあけ方、アクセント等、細々と解り易く一人一人丁寧に指導して頂いています。何度言われてもなかなかうまく吟じることが出来ない私達を気長に教えて下さっています。

何百年、何千年も上回る年月の詩が今なお生きて伝わりその感動を表現する事の難しさ奥の深さをやつと少しづつ感じております。

そしてティータイムには和やかな雑談に花が咲き笑いの中に緊張がほぐれ、又練習に励みます。大会で先生や大先輩の方々の吟を聴かせていただき味わいのある吟に魅せられ感心し、一步でも近付きたく心豊かに楽しく続けたいと思っております。

このように真澄支部は、四教場に別れてはおりますが、色々な行事には一体となって協力し、村田先生、水上先生のご熱心な愛情あふれるご指導のもと皆精進して行きたいと思っております。

## 雑感

矢嶋 岳悦

師走も半ばとなり、目前に21世紀が迫り何かと気忙しい昨今です。

広報部長より原稿を依頼され、軽くお受けしましたが題材も決まらず、大変烏講がまじいと存じましたが、最近思ったままのことを書かせて戴きます。

先日、叔父の法要で檀那寺のお上人が（天人）天は時、地は利、人は和と説かれました。時は天候、周期、四季、時間。地は恵み地の利、めぐり逢い。人は繁榮、人生仲良く。これは人間の道であり、吟道にも通ずることだと思えます。松井岳洋先生の色紙に天地心と書かれ朝晩に眺めております。今更ながら偉大な先生であつたなあと感じ入っております。私も入会して30年、教室も20年になります。天地人、天地心のお陰だと感謝しております。

碩心会もこのところ退会者が多くなってまいりました。一般に詩吟が世の中を逆行しているように考えていられる人もあるようです。会長先生が、理事役員が必死に入会者を勧めておりますが一般会員の皆様も健康に、ストレス解消に腹式呼吸で吟ずる詩吟がどんなに

良いか、また楽しい友とのふれあいがあるということを一人でも多くの方にお知らせ下さい。入会者をお待ちしております。

### 第49回逗子市文化祭

### 詩吟詩舞発表大会に参加して

逗子B 神藤 葉風

11月23日勤労感謝の日。逗子図書館ホールに於て、小林玲舟先生の開会の辞のあと全員の大会吟で始まりました。

当日は連絡係として参加しました。出吟の方は緊張した顔で番号札を出されますが、吟が終われば緊張がほぐれて穏やかな笑みをうかべて、連絡係の前を帰って行かれます。

出吟際に「遅くなりました」と番号札を出す方もあるため「お待ちしていました」と急ぎ進行係に番号札を届けます。

人それぞれに励ましたり、労らいの言葉を掛けあい、また飴を戴いたり、忙しい中にも和やかなひとときがありました。

舞台では華道吟が始まり、季節の美しい花が活けられ、書道の先生がお書きになる書には、いつも感激させられます。

詩舞は吟と舞が一体となつて幼稚園から小学生までの方が、蝶のように可憐に舞い沢山の拍手を浴びました。私は出吟が近付くと、

慌てて吟を忘れそうになります。今回は無難に出来たと思います。

今後とも指導の先生のもとで、楽しみながら頑張つて行きたいと思えます。

### 入会

513 中島萬里子 鎌倉市浄明寺三一―二―四四

（桜山） ☎〇四六七―二四―六二六〇

514 森本ゆき（幸泉）葉山町一色一三九二―44

再（下山） ☎〇四六八―七五―二三―八四

### 退会

469 高梨岳以（堀内D）

### 編集後記

あつと云う間の一年でした。沢山の原稿に埋もれている初夢を：願望です。

西岡 清岳

編集会議の都度、難しさを感じ、しかし学ぶことの楽しさも大きなものがあります。

磯村 朋岳

歳月は人を待たずとつくづく感じるこの頃  
時を追ひ刻に越さるる十二月

佐久間岳爽

皆様から「碩心」について感想をいただくことが一同の何よりの励みになります。

来年もよろしくお願い申し上げます。

白井 岳麗